

学校概要

創立 43 周年	学校長 野村 壽夫	副校長 加藤 静	学期 2 学期制	児童・生徒数 294 人
学級数 一般級: 12 個別支援級: 1			主な関係校: 横浜市立大道中学校	

学校教育目標

- 自ら学び続け、自分の考えを深める子を育てます。(知)
- 自分も友だちも大好きな、あたたかい子を育てます。(徳)
- 心と体を鍛え、自分や人の命と体を大切にすることを育てます。(体)
- 朝比奈の人や自然とかかわり、お互いを大切にすることを育てます。(公)
- 様々な社会の変化に柔軟に対応できる子を育てます。(開)

学校の特色

- 40数年前に開発された住宅地にあり、南面と西面は山、東面と北面が住宅で自然が残されている。
- 学校運営協議会委員の多くがボランティアとして児童の教育活動にかかわり、協力的である。
- 教職員の経験年数に偏りが少なく、職員にチームとして取り組む意識がある。
- 市学力・学習状況調査の結果は概ね市平均であるが、考えをまとめて説明するなどの表現力に課題がある。
- 校庭の広さに比べて、体力テストの結果から体の柔軟性や持久力に課題がある。
- 学校が学区の一番高い場所にあり、通学路に坂が多いことと学区内の主要道が高速道路上を通るため、降雪時や震災時等に孤立する恐れがある。

学校経営中期取組目標

- 学校教育目標を実現に努め、活力と魅力のある、信頼される学校・行かせたい学校づくりを推進します。
- ・一人ひとりの子どもが意欲的に学ぶ、分かる授業づくりを行い、学力を向上させます。
  - ・どの子どもにも居場所のある、安心・安全な学校づくりを進めます。
  - ・小中一環教育推進ブロックの学校・家庭・地域との連携を深め、子どもの規範意識や社会性を育成します。
  - ・全教職員が主体的に学校運営に参画し、「チーム朝比奈」として情熱と活気ある学校運営組織の確立を推進します。

小中一貫教育の取組

大道中	ブロック	大道中学校、朝比奈小学校、大道小学校、高舟台小学校、六浦南小学校
9年間で育てる子ども像	自他の関係づくりを大切にする子どもの育成 あいさつができ、街のルールを守る子ども 豊かな感性をもち、気持ちよく人とかかわりあえる子ども	
自校の具体的取組	(小中共通)あいさつ運動 (低) 相手の話を最後まで聞き、自分の言いたいことをはっきり言える子の育成 (中) 相手の言いたいことは何かを考えながら聞き、自分の言いたい事を分かりやすく伝えようとする子どもの育成。 (高) 相手の考えを理解した上で、自分の考えを伝えることができる子どもの育成。	

重点取組分野	取組目標	具体的取組
確かな学力	基礎的・基本的な知識・技能の確実な習得をもとに、児童相互の言語活動を積極的に進めることで表現力・コミュニケーション能力の向上を目指します。	①全学級で「学校の約束」をもとにした学習環境を整え、落ち着いた雰囲気の中で授業を行う。②全学級でドリル・スキルに取り組む「あさひなパワーアップ」の時間を設定し、読む・書く・計算する力の確実な定着を図る。③体験的な活動による実感を伴った理解や、言語活動による表現力・コミュニケーション能力の向上を意識した授業展開を図る。
豊かな心	道徳の時間及びすべての教育活動において、自他を大切にできる心情や態度を育てるとともに、自尊感情の育成に取り組めます。	①年間を通した「あおぞら」(たてわり活動)で、児童がお互いを思いやる心や自他の関わりについて学べるようにする。②道徳の授業や「人権標語づくり」、「人権講話」等を通して児童の人権意識を高める。また、人権授業参観などを利用して保護者との連携を図る。③朝読書、読み聞かせ、お話しや学級文庫の宅配などを通して児童の豊かな感性を育む。
健やかな体	広い校庭での外遊びを進めるとともに、横浜市体育協会と連携して児童がスポーツに親しめるスポーツデーを設け、体力向上を目指します。	①スポーツデーやマラソン大会、長縄集会を設定し、運動に親しむ環境をつくる。②児童が自身の健康に目を向け、食の大切さに目を向け、年間を通して取り組める場として「朝比奈小健康会議」を運営するとともに、給食調理員や派遣栄養士と連携して日々の給食時間を活用した食育を進める。
児童生徒指導	「学校の約束」をもとに全職員で共通した指導をすすめます。	①「学校の約束」を職員で共有し、共通した指導を行う。②YPアセスメントを活用し、児童の自尊感情を育てるとともに学級づくりに活かす。③職員研修を通して特別支援教育についての理解を深め、子どもの課題解決に生かす。
教育環境整備	自然の残る学校環境を守り、特色ある教育活動を行います。	①地域・保護者と連携した「ホタル池」活動を通して、朝比奈の環境を守っていかうとする気持ちを育てる。②「裏山」で自然と触れ合う活動を教育課程に位置づけ、自然や生命を大切にすることを育てる。
学校運営協議会	学校運営協議会を活用し、児童の生きる力を育てる活動に地域と連携して取り組みます。	①教育ボランティアの協力を得ながら読書活動を一層推進し「本好きな子」を育てる。②地域の材を活かした学習活動を通して児童の問題解決力を高めるとともに、地域を愛する児童を育てる。③年4回の学校運営協議会を通して学校と地域・保護者の連携を深めるとともに、よりよい学校づくりへの協議の場とする。
いじめへの対応	「いじめは絶対に許されない」という意識の徹底を図ります。	①「休み時間アンケート」を実施し、児童の状況や気持ちに寄り添うことで、いじめの防止、早期発見に努める。②職員研修を通して教職員の人権感覚を磨き、だれもが安心できる教育環境を共有する。
人材育成・組織運営	チーム朝比奈という共通意識をもって学校運営に取り組めます。	①主幹教諭を中心とした経験のある教員の指導・助言のもと、実技研修・授業参観・授業検討等実践的なメンター研修をすすめることで経験の浅い教職員の資質向上に努める。②各分掌における企画・運営に責任をもって取り組むことで組織の効果的運営力・児童指導力・危機管理対応能力などを育成する。